

平成20年度第1回宇都宮市社会福祉審議会児童福祉専門分科会議事録

日 時	平成20年7月14日(月) 午後3時30分～午後5時00分	
場 所	14大会議室	
出席者	分科会長	伊達悦子委員
	分科会長職務代理者	直井克仁委員
	委員	岡本芳明委員, 安納ミヤ子委員, 牧 恒男委員, 石嶋 勇委員, 今井恭男委員, 大谷 仁委員
欠席者	江連晴夫委員, 加藤佳子委員(障がい者福祉専門分科会出席), 佐藤和子委員, 鎌倉三郎委員, 絹谷よし子委員	
事務局	<p>【子ども未来課】増淵課長, 角海課長補佐, 角田主任</p> <p>【子ども家庭課】三好課長, 荻原課長補佐, 高瀬係長, 吉澤係長, 遠藤主任</p> <p>【保育課】青柳課長, 君島課長補佐, 鈴木係長,</p> <p>【子ども発達センター】小林副所長</p> <p>【商工振興課】金田課長</p> <p>【住宅課】大森課長</p> <p>【生涯学習課】會澤課長補佐, 増淵主任</p>	
発言者	内 容	
子ども未来課長補佐	<p>会議次第「1 開会」</p> <p>会議次第「2 委員紹介」(事務局紹介)</p> <p>会議次第「3 分科会長選出」(互選により伊達委員を選出)</p> <p>(職務代理者の指名 会長が直井委員を指名)</p>	
分科会長	<p>会議次第「4 分科会長挨拶」</p> <p>会議次第「5 議題(1) 報告事項 平成19年度宇都宮市ひとり親家庭等自立促進計画の進捗状況について」事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>(質疑)</p>	
分科会長	市の単独手当の給付においては, ケースワーク的な関りはあるのか。	
高瀬係長	児童扶養手当とあわせて, 必要な支援の情報提供, 相談支援を実施している。	

分科会長	<p>ひとり親家庭でも、自立のために就業や子育てに、意欲的に取り組んでいる家庭は、問題はないのであるが、過去には、生活全体で親がネグレクトの状態にあり、民生委員や先生も家庭に入れないケースもあった。このようなケースワーク的な介入を必要とする事案で、複数の機関が関わる時にどうするかが問題ではないか</p> <p>市でも、生活保護は、生活福祉課であり、手当の給付は子ども家庭課であることから、関係課が異なる。</p>
牧委員	<p>各市には、様々な課題を抱える家庭に対して、要保護児童対策地域協議会を設置して対応されていると思うが、児童虐待問題だけに限らずに、子どもに係わる困難な問題については、この協議会を使い、各課だけで対応するのではなく、さまざまな機関が集まって連携して、事にあたることが、問題解決につながるのではないか。</p> <p>さらには、民生委員・児童委員や母子寡婦団体など民間の方々力を借りていくことも、必要である。</p>
分科会長	<p>これからも、多問題を抱えた家族には、各課にまたがった場合の連携について、検討してほしい。</p> <p>次に 資料2「3 今後の重点的に取り組む施策」について事務局の説明をお願いします。</p>
直井委員	<p>ひとり親家庭が、増えていく中で、せっかくのさまざまな支援策も、市の窓口へ相談に行かないとわからない。ひとり親になった時点で、情報を手にいれる方法や、教えてあげられる方法はないものか。</p> <p>また、乳幼児健康支援デイサービス事業の昨年度の実施状況を教えていただきたい。</p>
高瀬係長	<p>児童扶養手当の申請や毎年の現況届の提出などの直接窓口においていただく場合には、積極的な情報提供を実施している。</p> <p>地域のひとり親家庭については、民生委員・児童委員や母子父子福祉協力員、母子寡婦福祉連合会の地区会と連携して、情報提供を図っていきたい。</p>
君島補佐	<p>乳幼児健康支援デイサービス事業については、平成19年度は、932件の利用があった。</p>

	<p>変更点としては、市町合併に伴い、旧上河内町のゆうゆう保育園が加わり、3カ所となったところである。このうち平成20年度から、福田こどもクリニックで実施している病気療養中に集団保育になじまない児童に対する病児保育事業を補助事業として支援することとした。</p>
分科会長	<p>情報を得るツールがたくさんある人、少ない人と様々なひとたちがいる。 ひとり親家庭で、お子さんが小さい場合には、たとえば、保育園はよい場所であり、そこに行けば情報がもらえ、相談に乗ってもらえるようにすることが、有効ではないか。 また、窓口対応が大事で、ベテランの人がいろいろな可能性を予測し、ソーシャルワーク的な対応ができる対応が求められる。</p>
安納会長	<p>最近では、インターネットで情報を得ている若い母子家庭の方も多くなっているが、母子連に加入している方は、いろいろな情報が手に入り、事業に参加できメリットがあることから、加入促進について、市のご協力をお願いしたい。</p>
伊達会長	<p>母子連に加入している若年母子の人は、意欲的な方が多い。情報が手に入りにくい人へのアプローチを工夫してほしい。 保育園における情報提供においては、パーマネントのものと新しいものと両方あると、伝わりやすいのではないか。</p>
石嶋委員	<p>事業が目標を達成できるように、今後とも引き続きお願いしたい 必要な人に情報が届くように、幼稚園、保育園、学校、地域の自治会長、民生委員、福祉協力員へ情報を発信して、困っているひとり親家庭に一日も早く、手を差し伸べてあげられるようにしてほしい。</p>
伊達会長	<p>会議次第「6 その他」として事務局より何かありますか。</p> <p>(「次世代育成支援対策地域協議会」について事務局説明)</p> <p>(閉 会)</p>